

社会・労働関係文献月録

・分類表は2005年12月号に掲載されています。
 ・収録誌の一覧は1991年6月号に掲載されています。
 ・掲載文献は研究所で閲覧・複写できます。但し紀要については所蔵していないものもあります。所内での複写は有料です。なお、文書等（葉書・FAX・e-mail 可）で申込みの場合は、複写料および送料実費で申し受けます。定期購読者に限り、複写料は引きいたします。

法政大学大原社会問題研究所編 ☎ 042-783-2306
 東京都町田市相原町4342 (〒194-0298) F. 042-783-2311

2013.4.1～2013.4.30受け入れ分

(文献資料名) (著者名) (収録誌名) (巻-号) (月 号)
 *印単行書の場合→ (発行所) (判・頁) (刊行年月)

I 理論・一般

0. 総記

| | | | | |
|-----------------------------|------------------------|--------------|--------|--------|
| 同居児法による女性就業者の職業別出生率推計 | 伊原 一 | 統計研究彙報 | 69 | 12.3 |
| 『歴史と階級意識』における「危機的な内的過渡期」の実相 | 安岡 直 | 秀明大学紀要 | 9 | 12.5 |
| アナーキーの再発見 | 小野塚佳光 | 経済学論叢 (同志社大) | 64-1 | 12.7 |
| 連帯経済 (報告) | 西川 潤 | 連合総研レポートDIO | 273 | 12.7/8 |
| *裸のフクシマ | たくきよしみつ | 講談社 | B6.350 | 11.10 |
| *子どもの権利条約から見た日本の子ども | | | | |
| 子ども権利条約NGOレポート連絡会議編 | 現代人文社 (発売: 大学図書) | | A5.215 | 11.5 |
| *再配分か承認か? | | | | |
| ナンシー・フレイザー, アクセル・ホネット著 | 加藤泰史監訳 | 法政大学出版局 | B6.327 | 12.10 |
| *障害者の権利条約と日本 | 長瀬修他編 | 生活書院 | A5.398 | 12.10 |
| *倚りかからぬ思想 | 鈴木 正 | 同時代社 | B6.237 | 12.12 |
| *原発は差別で動く | 八木正編 | 明石書店 | B6.359 | 12.6 |
| *真相日本の枯葉剤 | 原田和明 | 五月書房 | B6.272 | 13.1 |
| *脱原発ドイツと日本 | 伊関武夫 | 批評社 | B6.230 | 13.1 |
| *地域をめぐる諸問題 | 三重中京大学地域社会研究所 | 和泉書院 | A5.235 | 13.1 |
| *テレビはなぜおかしくなったか | 金平茂紀, 永田浩三, 水島宏明, 五十嵐仁 | 高文研 | B6.188 | 13.1 |
| *ふたつの講演 | 加藤典洋 | 岩波書店 | B6.164 | 13.1 |
| *マックス・ウェーバーの日本 | | | | |
| ヴォルフガング・シュヴェントカー著 | 野口雅弘他訳 | みすず書房 | A5.371 | 13.1 |
| *リベラル・デモクラシーとソーシャル・デモクラシー | 田中浩編 | 未来社 | B6.214 | 13.1 |
| *歴史から学ぶ | 不破哲三 | 新日本出版社 | B6.253 | 13.1 |
| *21世紀への挑戦 4 | 北川隆吉, 中山伸樹編 | 日本経済評論社 | B6.244 | 13.2 |
| *上田耕一郎著作集 2 | 上田耕一郎 | 新日本出版社 | B6.421 | 13.2 |
| *<沖縄>基地問題を知る事典 | 前田哲男, 林博史, 我部政明編 | 吉川弘文館 | A5.191 | 13.2 |
| *成年後見制度の新たなランド・デザイン | | | | |
| 法政大学大原社会問題研究所, 菅富美枝編著 | | 法政大学出版局 | A5.420 | 13.2 |
| *熊取六人組 | 細見 周 | 岩波書店 | B6.224 | 13.3 |
| *原発賠償を問う | 除本理史 | 岩波書店 | A5.63 | 13.3 |
| *市場取引の多様性と制度の応用経済分析 | | | | |
| 法政大学比較経済研究所, 武智一貴編 | | 日本評論社 | A5.248 | 13.3 |

| | | | | |
|---|--------------|------------------|---------|--------|
| * 週刊RO通信 2012年の記録 | 奥井禮喜 | ライフビジョン出版 | A6.217 | 13. 3 |
| * 人権と偏見のコンフリクト 花園大学人権教育研究センター編 | | 批評社 | B6.207 | 13. 3 |
| * 人権年鑑 2013 | | 部落解放・人権研究所 | A5.296 | 13. 3 |
| * 大恐慌論 ベン・S・バーナンキ著 栗原潤, 中村亨, 三宅敦史訳 | | 日本経済新聞出版社 | A5.343 | 13. 3 |
| * 宮本顕治著作集 第5巻 | 宮本顕治 | 新日本出版社 | B6.425 | 13. 3 |
| 1. ジェンダー・フェミニズム・女性論 | | | | |
| 特集 「参画」を問う—意味ある意思決定への参加とは？ | | 女たちの21世紀 | 70 | 12. 6 |
| 「202030」で、女性の意思決定への参画は達成できるのか？(船橋邦子) 政策・方針決定過程に女性が参加するとはどういうことか(紙谷雅子) | | | | |
| * 現代「生活者」論 | 天野正子 | 有志舎 | B6.300 | 12.11 |
| * 女性の生活状況及び社会的困難をめぐる事例調査 | | せんだい男女共同参画財団 | A4.78 | 13. 3 |
| * 北海道社会とジェンダー | 札幌女性問題研究会編 | 明石書店 | A5.224 | 13. 4 |
| 2. 労働論 | | | | |
| 特集 子どもの貧困と労働(1) | | 大原社会問題研究所雑誌 | 646 | 12. 8 |
| 特集にあたって(原 伸子) 近代日本の児童労働(榎 一江) 児童労働撤廃に向けての国際政策と国際運動(堀内光子) 子どもと戦争(江沢あや 川崎暁子訳) | | | | |
| 労働におけるケイパビリティの国際比較 | 西川真規子 | 経営志林(法政大) | 49-2 | 12. 7 |
| アダム・スミスの労働価値論の再構成 | 高 哲男 | 東京経大会誌 | 273 | 12. 2 |
| 特集 働き方の多様化と労働者概念 | | 日本労働研究雑誌 | 624 | 12. 7 |
| 「労働者」概念の現在(皆川宏之) 非「労働者」の保護と保護対象者の相対的把握(藤本真理) イタリアにおける認証制度とその機能(小西康之) 労働保護の必要性和手段(安藤至大) 労働者概念の生成(鎌田耕一) 個人請負就業者の「労働者性」と就業選択(佐野嘉秀, 佐藤博樹, 大木栄一) | | | | |
| 人間的な労働と生活の新たな構築をめざして | | 労働総研クォーターリー | 87 | 12. 夏季 |
| 3. 労使(資)関係論 | | | | |
| 高度経済成長期における日本生産性本部の活動 | 島西智輝 森直子 梅崎修 | 日本労働研究雑誌 | 625 | 12. 8 |
| 6. 社会政策論 | | | | |
| 福祉国家再編政治のミクロ解釈学 | 西岡 晋 | 金沢法学 | 55-1 | 12. 7 |
| 藤田菜々子著『ミュルダールの経済学—福祉国家から福祉世界へ—』(書評) | 杉田菜穂 | 経済学雑誌(大阪市立大) | 113-1 | 12. 6 |
| イギリスにおける福祉政策の収斂と分岐 | 日野原由未 | 法学新報(中央大) | 119-3/4 | 12. 7 |
| 7. 社会保障論 | | | | |
| 国民負担の世代間格差と税・社会保障改革 | 徳田秀信 風間春香 | みずほ総研論集 | 33 | 12. 6 |
| 高度高齢社会と介護予防 | 松田晋哉 | 介護保険情報 | 13-4 | 12. 7 |
| 特集 社会保障と税をめぐる | | 生活協同組合研究 | 438 | 12. 7 |
| 社会保障・税制一体改革に向けて(駒村康平) 消費税の社会保障目的税化の問題点とは何か(町田俊彦) 「重税の国」「福祉の国」へ(樋口恵子) 一体改革の意味と課題(田中秀明) 社会保障と税を考える(神野直彦) | | | | |
| * 世界と日本の格差と貧困 | 香川正俊 | 御茶の水書房 | A5.219 | 13. 2 |
| 8. 社会福祉論 | | | | |
| 社会福祉分野における当事者主体概念を検証する | 西村 愛 | 大原社会問題研究所雑誌 | 645 | 12. 7 |
| 特集 新人口推計と社会福祉のゆくえ | | 月刊福祉 | 95-10 | 12. 8 |
| 新人口推計と社会福祉のゆくえ(鼎談)(金子隆一 駒村康平 阿藤誠) 少子化対策を考える(柏女霊峰) 過疎化と地域福祉の将来像(原 俊彦) 少子高齢社会における働き方(武石恵美子) 人口減少社会の課題とこれからの社会保障政策(加藤久和) | | | | |
| * 大阪の貧困 2 | | 反貧困ネットワーク大阪実行委員会 | A5.84 | 11.11 |
| * 里子・里親という家族 | 吉田菜穂子 | 大空社 | A5.199 | 12.11 |
| 10. 労働科学, 人間工学 | | | | |
| 日本における社会衛生学の展開 | 杉田菜穂 | 経済学雑誌(大阪市立大) | 113-1 | 12. 6 |

II 労働問題

20. 総記
- デカセギと家族 (13)
- 稲葉奈々子 樋口直人 茨城大学人文学部紀要 人文コミュニケーション学科論集 12 12. 3
- 特集 労働者の人権—いのち削られる労働現場 人権と部落問題 64-9 12. 8
- 「おい、地獄さ、行くんだで！」原発被曝労働者って、《消耗品》なのか(柴野徹夫) 郵政における「人権問題」(日巻直映) 請負・派遣労働者にも人間の誇りがある(野村政勝) 過労死・過労自殺の労災申請と認定の現状(芝井 公) 今日の労働者の状況(中村和雄)
21. 雇用・労働市場
- 特集 どう変える これからの採用・就職 人事実務 1115 12. 8
- 真の就職内定率はまだまだ高められる！(西山昭彦)「ソー活」「SNS採用」の現状と行方(平野恵子)「選考力の低下」と「使い分けが進む就職サポート」への課題(斎藤幸江)「グローバル人材」とは特別な人材ではない(三城雄児) 質の高いインターンシップのススメ(徳岡臣紀)
- 延辺朝鮮族自治州における労働力移動の原因 鄭 菊花 佐賀大学経済論集 45-2 12. 7
- 特集 多様化する日本の就業構造 統計 63-7 12. 7
- 雇用の非正規化と所得格差(四方理人, 駒村康平) 女性就業の多様化と少子化(小崎敏男) 高齢者の労働所得ポテンシャルと人口負荷軽減への貢献(小川直宏) 平成24年就業構造基本調査の概要(斎藤俊雄)
- 中国の労働市場におけるマッチング関数の誘導型推定 劉 洋 統計学 102 12. 3
22. 労働条件
- 60歳以降は年収300万円 35歳から生計費とかい離 藤田研一 月刊労働組合 574 12. 8
24. 労働時間
- 雇用関係と労働時間の決定 (発題者:石田光男) 国際産研 31 12. 7
- 特集 日本人の休暇 日本労働研究雑誌 625 12. 8
- 日本人の休暇(日本労働研究雑誌編集委員会)「休暇」概念の法的意義と休暇政策(野田 進) 日本人の余暇時間(黒田祥子) 余暇と労働時間の長期的推移に関する経済理論と実際(三谷直紀) フランスのバカンスと年次有給休暇(鈴木宏昌) 年休を取り残す理由が年休取得率に与える影響(小倉一哉)
- *労働時間の短縮で日本社会を変えよう 斉藤隆夫監修 労働運動総合研究所編 本の泉社 A5.63 13. 1
- 日本における派遣労働の位相 水野有香 経済経営論集(名古屋経済大学) 19-1 11.12
- 戦後日本の学校図書館史における非正規職員問題 安藤友張 九州国際大学教養研究 18-3 12. 3
- 特集 Non-regular employment and vocational career Japan labor review9-3 12.Summer
- Job security concern among temporary agency workers in Japan (Akiko Ono) Part-time work experience of university students and their career development (Tomoki Sekiguchi) Is temporary work dead end in Japan? (Masato Shikata) Career development process, starting with non-regular workers:based on analysis of factors determining the transition from non-regular to regular employment, including promotion to regular employment within the same firm (Reiko Kosugi) Conversion of non-regular employees into regular employees and working experiences and skills development of non-regular employees at Japanese companies (Yoshihide Sano)
- 非正規労働者の雇用継続性の検証 萩原牧子 Journal of policy studies (関西学院大) 40 12. 3
- 契約社員の導入から正社員化の闘い(上) 佐古正明 社会主義 602 12. 8
- 特集 非正規労働者のキャリア形成をめぐる論点 連合総研レポートDIO 273 12.7/8
- ジョブ・カード制度の課題と可能性(大木栄一) 非正規雇用者のキャリア形成を実現するための課題(佐藤博樹)「非正規労働者の正社員化における政策課題」(四方理人)
27. 在宅・家内労働
- マルクスの近代的家内労働論 木村隆夫 経済経営論集(名古屋経済大学) 19-2 12. 3
28. 女性労働
- 紡績工場にできたたまり場
- 石井宏典 茨城大学人文学部紀要 人文コミュニケーション学科論集 12 12. 3
- 特集 「女性とキャリアに関する調査」報告
- 日本女子大学現代女性キャリア研究所紀要 現代女性とキャリア 4 12. 6

| | | | | |
|---|--|--------------------|---------|-------------|
| 第4章 なぜ、女性は初職を辞めるのか (杉浦浩美) | 第5章 社会経済状況と女性のキャリア (仲田周子) | | | |
| 2章 主な調査結果 (盧回男 斎藤真由子 御手洗由佳) | 第3章 誰が初職を継続しているのか (三具淳子) | | | |
| 台湾における女性労働者の勤労意欲 | 呉欣潔 願興寺皓之 | 南山経営研究 | 27-1 | 12. 6 |
| 全国でキラリ働き女子つなが〜中! (7) | 下元奈美 | 連合 | 25-4 | 12. 7 |
| 全国でキラリ働き女子つなが〜中! (8) | 宮原由佳 | 連合 | 25-5 | 12. 8 |
| *現場女子 | 遠藤 功 | 日本経済新聞出版社 | B6.247 | 12.12 |
| 30. 若年労働 | | | | |
| 若者によい仕事とよい職場を! 「若者雇用」をめぐる政策課題 | | | | |
| | 小杉礼子 村上陽子 安永貴夫 | 連合 | 25-5 | 12. 8 |
| *ブラック企業と就活・働く権利 | 生熊茂実, 鹿田勝一著 | 労働運動総合研究所編 | 本の泉社 | A5.71 12.12 |
| 31. 中高年労働 | | | | |
| 特集 高齢者が働くということ | | | | |
| | | 労働の科学 | 67-8 | 12. 8 |
| 地域の働く場と新しい働き方のモデルづくり (秋山弘子) 今後の高齢者雇用の取組みにおける課題 (藤本 真) | | | | |
| 高齢労働社会への産業保健からのアプローチ (神代雅晴) | | | | |
| *高齢者の継続雇用に関する実態調査 | | 東京都労働相談情報センター | A4.244 | 13. 3 |
| 33. 外国人労働 | | | | |
| 日本の園芸農業と外国人労働者 | 佐藤 忍 | 大原社会問題研究所雑誌 | 645 | 12. 7 |
| 公共セクターにおける外国人の雇用とマネジメント | 日野原由未 | 法学新報 (中央大) | 119-1/2 | 12. 6 |
| 35. 労災, 職業病, 健康問題 | | | | |
| 過去30年間の医療制度の変遷 (最終回) | 神田光悦 | 月刊労働組合 | 573 | 12. 7 |
| さよなら原発, さよなら癌 (1) | 西本 明 | 月刊労働組合 | 574 | 12. 8 |
| *福島原発と被曝労働 | 石丸小四郎, 建部暹, 寺西清, 村田三郎 | 明石書店 | B6.256 | 13. 1 |
| 36. ハラスメント | | | | |
| EUにおける職場のいじめ規制の現状と課題 | | | | |
| | 大和田敢太 | 滋賀大学環境総合研究センター研究年報 | 9 | 12. 8 |
| 職場のパワハラ予防と解決に向けて | 佐藤博樹 | 労働法学研究会報 | 2530 | 12.8. 1 |
| 38. 生活問題 | | | | |
| 解放直後・在日済州島出身者の生活史調査 (11・上) | | | | |
| | 藤永壮 高正子 伊地知紀子 鄭雅英 皇甫佳英 高村竜平 村上尚子 福本拓 高誠晩 | | | |
| | | 大阪産業大学論集 人文・社会科学編 | 15 | 12. 6 |
| 鎌田とし子著『「貧困」の社会学—労働者階級の状態』(書評) | | | | |
| | 宮本みち子 | 大原社会問題研究所雑誌 | 645 | 12. 7 |
| 垣田祐介著『地方都市のホームレス—実態と支援策』(書評) | | | | |
| | 畠中 亨 | 大原社会問題研究所雑誌 | 645 | 12. 7 |
| *消費生活に関するパネル調査 (第19回調査) 2012年 | | 家計経済研究所 | A4.181 | 12.10 |
| *障害者介助の現場から考える生活と労働 | 杉田俊介, 瀬山紀子, 渡邊琢編著 | 明石書店 | B6.365 | 13. 1 |

III 労働運動

| | | | | |
|--|------|--------|--------|-------|
| 40. 総記 | | | | |
| ウォール街占拠運動 | 高須裕彦 | 労働経済春秋 | 7 | 12. 6 |
| 特集 「中小・未組織・非正規労働者の運動」 | | | | |
| | | 社会主義 | 602 | 12. 8 |
| 連合の中小・未組織・非正規運動の現状 (善明建一) 地域労働運動の果たす役割と今日的運動課題 (木下栄治) | | | | |
| 地域で雇用問題を考える (原田和明) 香川における連合運動の現状と課題 (十河健治) 地域ユニオン運動, 10年の実践 (梅川正信) | | | | |
| 「分岐」に入ったグローバル資本主義 | 田淵太一 | 同志社商学 | 64-1/2 | 12. 7 |
| 国際社会の粘り強い働きかけで変化のきざしが見え始めたビルマ 更なる真の民主化を祈念する | | | | |
| | 古賀伸明 | 連合 | 25-4 | 12. 7 |

| | | | |
|---|--|---|--------------|
| 41. 労働組合・運動論 | | | |
| 特集 | 次世代に引き継ぐ労働運動 | 月刊労働組合 | 574 12. 8 |
| | 反転攻勢へのラストチャンス（山根木晴久）20代の若者、組合立ち上げる（鈴木 一）自治労青年女性交流集会を開催（佐々木 伸）全国青年部を結成（玖島穂高） | | |
| | *「労働組合による異議申し立て行動の実態」についての調査報告書 | 連合総合生活開発研究所 | A4.150 13. 3 |
| 42. ナショナルセンター | | | |
| 連合 | 「1000万実現プラン」を決定 | 新井栄三 月刊労働組合 | 573 12. 7 |
| 特集 | すべての職場に集团的労使関係を！1000万連合実現プラン | 連合 | 25-4 12. 7 |
| | 「仲間を増やす」ことは、労働組合の本能であり原点（落合清四）「1000万連合」への道筋は、労働運動の再構築そのものだ（水谷雄二） | | |
| 組織拡大、重点政策実現へ力を合わせて前進しよう | | 南雲弘行 連合 | 25-4 12. 7 |
| 重要法案目白押しの臨時国会 実のある審議で信頼回復を | | 南雲弘行 連合 | 25-5 12. 8 |
| 43. 地域別、産業別共闘 | | | |
| | 鈴コン闘争勝利、組織強化拡大へ新たな体制・「規約」を確立—全国協第3回臨時大会 | 小泉義秀 月刊労働運動 | 268 12. 7 |
| 頼れる地域労連に | | 上田 潤 月刊全労連 | 186 12. 8 |
| パート雇い止めと社保未加入、団体交渉・労働審判で大きな勝利 | | 小林 悟 月刊全労連 | 186 12. 8 |
| *自動車総連40年史 | | 全日本自動車産業労働組合総連合会 | A4.112 13. 2 |
| 44. 単産、単組 | | | |
| | 7・26～27国労第81回定期全国大会に向けて | 吉野元久 月刊労働運動 | 268 12. 7 |
| 民営郵政の事業危機・赤字論とJP労組中央の労使一体化路線を打ち破り、階級的全通労働運動の復権へ | | 岩本正治 聞き手：全通労働者部会 月刊労働運動 | 268 12. 7 |
| 46. 賃金闘争（含 生活改善闘争） | | | |
| 労働者・国民と連帯して、賃下げ違憲訴訟の勝利を | | 加藤健次 国公労調査時報 | 596 12. 8 |
| *都内民間労組における賃上げ・一時金要求・妥結状況 | 2012 | 東京都労働相談情報センター | A4.128 13. 3 |
| 48. リストラ・雇用対策 | | | |
| 動労千葉、外注化阻止へ決戦態勢 | | 大沢 康 国際労働運動 | 433 12. 9 |
| 特集 | 日航不当解雇撤回のたたかい | 前衛 | 885 12. 8 |
| | 日本航空は大リストラでどうなっているか（津恵正三）いっしょに働き、「安全なフライト」のJALに（座談会）（内田妙子 斉藤良子 山田純江） | | |
| 49. 権利闘争 | | | |
| | 6・10国鉄集会の地平と首相官邸前4万5千人の怒りを、7・16反原発集会の大爆発と10・1外注化阻止、JR青年労働者の総反乱に転化しよう | 飯田英貴 月刊労働運動 | 268 12. 7 |
| 第19回女性部定期全国大会報告 | | 辻川あつ子 月刊労働運動 | 268 12. 7 |
| 特集 | 新自由主義批判、労働者の権利 | 月刊全労連 | 186 12. 8 |
| | 橋下・維新の会の職場支配と労働組合のたたかひの現状（大原 真）観光バスの規制緩和による大惨事の再来を阻止し、「安心・安全」を担保させる法改正を（松下末宏）本来あるべき公務員制度改革（盛永雅則）最近の労働裁判の傾向と労働組合の課題（萬井隆令） | | |
| 民営化などに伴いクビ切りも | | 石田 誠 月刊労働組合 | 573 12. 7 |
| 51. 教育文化宣伝活動 | | | |
| 動労千葉労働学校で学ぼう！ | | 月刊労働運動 | 268 12. 7 |
| 篠田教授の「労働文化」耕論（1） | | 篠田 徹 連合 | 25-4 12. 7 |
| 篠田教授の「労働文化」耕論（2） | | 篠田 徹 連合 | 25-5 12. 8 |
| やれることはもっとあるはず！労働組合のシューカツ支援 | | 齊藤勉 細田一三 杉本宗之 御幡秀則 菊池正範 成田恭子 吉竹資英 寺田弘児 美川孝一郎 連合 | 25-5 12. 8 |

| | | | | |
|---|-----------|--------------------|--------|---------|
| * 『サークル村』と森崎和江 | 水溜真由美 | ナカニシヤ出版 | B6.402 | 13. 4 |
| 52. 労働組合と政治 | | | | |
| 特集 野田・橋下・連合を倒し改憲を阻もう | | 国際労働運動 | 433 | 12. 9 |
| 新自由主義の集約点が改憲 改憲の先兵・橋下打倒を | | | | |
| ルールなき政治の是正を | 小田川義和 | 月刊全労連 | 186 | 12. 8 |
| 民主党の事態は極めて遺憾 与党議員としての責任を認識し速やかに態勢の立て直しを | 古賀伸明 | 連合 | 25-5 | 12. 8 |
| 53. 労働組合と社会問題, 社会運動 | | | | |
| 特集 反原発, 反戦・反核闘争の大高揚を! | | 月刊労働運動 | 268 | 12. 7 |
| 被爆67周年, 8・6ヒロシマー8・9ナガサキ反戦反核闘争の大成功を!(広島県労働組合交流センター) 被爆67周年, 8・6ヒロシマー8・9ナガサキ反戦反核闘争の大成功を!(長崎労働組合交流センター(準)) | | | | |
| 7・16反原発10万人集会を大成功させよう(織田陽介 聞き手:月刊労働運動編集部) | | | | |
| 特集 労働組合よみがえらせ全原発の廃炉へ | | 国際労働運動 | 432 | 12. 8 |
| 再稼働許さず政府・東電の事故責任を追及し続けよう 原発労働者とつながり階級的な反原発運動を(聞き手:織田陽介 参加者:前川原沢夫 辻川慎一 小野裕通 川俣辰彦 西納岳史 織田陽介)放射線被曝を強制する重罪人・山下許すな労働者の団結を取り戻し新自由主義をうち破ろう | | | | |
| 国民に対する責任果たす | 岩井 孝 | 月刊全労連 | 186 | 12. 8 |
| 特集 労働組合が平和運動の先頭に | | 月刊労働組合 | 573 | 12. 7 |
| 「ヒロシマ」から核廃絶を訴える(神崎昭男) 沖縄返還40周年を迎えて(平良昌史) 横須賀に基地はいらない(三浦半島地区教職員組合) 平和憲法を守り生かすために(森本孝子) | | | | |
| さようなら原発集会に17万人参加 | | 月刊労働組合 | 574 | 12. 8 |
| * 非正規雇用と労働運動 | 伊藤大一 | 法律文化社 | A5.201 | 13. 3 |
| 54. 労働者福祉・協同組合運動 | | | | |
| 協同組合と労働組合の連携を再構築し「安心社会」へ, 連帯の輪を広げたい | 大塚敏夫 | 連合 | 25-4 | 12. 7 |
| * 生協総研賞・助成事業研究論文集 第9回 | | 生協総合研究所 | B5.133 | 13. 1 |
| IV 経営労務 | | | | |
| 60. 総記 | | | | |
| * 渡米実業団100周年講演集 ミニシンポジウム | | 渋沢栄一記念財団渋沢史料館 | A4.39 | 11. 3 |
| * 渋沢栄一と『実業之日本』展示の記録・講演録 | | 渋沢栄一記念財団渋沢史料館 | A4.46 | 12. 3 |
| * 企業内の労使関係 改訂版 | 村杉靖男 | 日本生産性本部生産性労働情報センター | A5.243 | 13. 2 |
| 61. 人事・労務管理 | | | | |
| 今後の労務関係法改正動向と人事労務管理に与える影響及び労働法務の対応策について | 石寄信憲 | 人事管理REPORT | 50-4 | 12. 7 |
| 特集 働き方を変えるタイムマネジメント | | 人事実務 | 1114 | 12. 7 |
| 「スマートマネジメント」導入のススメ(行本明説) ワーク・ライフ・バランスによる働き方と組織文化の改革(江上節子) | | | | |
| 人事管理のこれからを考える(講演) (発題者:今野浩一郎) | | 国際産研 | 31 | 12. 7 |
| 個人のキャリア権と企業の人材活用 | 諏訪康雄 西尾健二 | 労働法学研究会報 | 2529 | 12.7.15 |
| * 社会福祉法人に求められる労務管理 | 平松和子 | 全国社会福祉協議会 | A5.134 | 12.11 |
| * 若手従業員の意欲と活力を高める職場づくり | | 中部産業・労働政策研究会 | A4.226 | 13. 2 |
| 64. 定年制, 退職金, 企業年金 | | | | |
| 企業年金制度の積立不足と母体企業の株式リターン | 柳瀬典由 後藤晋吾 | 東京経大会誌 | 274 | 12. 3 |
| 66. 教育・訓練 | | | | |
| クロネコヤマトに学ぶ経営革新・リーダーシップ・人材育成について | 都築幹彦 | 人事管理REPORT | 50-4 | 12. 7 |
| 次期経営幹部は社内鍛える | 日沖 健 | 企業と人材 | 994 | 12. 8 |

| | | | | |
|-------|--|----------------|---------|-------------|
| 特集 | 新入社員の傾向と長所の伸ばし方 | 産業訓練 | 677 | 12.7 |
| | 7年間かけて新人・若手社員を育てる (加藤浩章) モチベーションなき新入社員たち (岩間夏樹) | | | |
| 特集 | 教える経験が人を育てる 若手を伸ばす「教える力」 | 人材教育 | 283 | 12.7 |
| | “教え”の本質は”学び”にあり (辻本雅史) 「教える」チャンスを提供し育成の風土を根づかせる (関根雅泰) | | | |
| * | 伸びるエンジニアを生み出す | 豊田義博, 電機総研編 | エイデル研究所 | A5.173 13.2 |
| <hr/> | | | | |
| 67. | リストラ・雇用 | | | |
| | 日本航空の不当整理解雇との闘い | 大江登志栄 | 社会主義 | 602 12.8 |
| <hr/> | | | | |
| 68. | 安全衛生管理 | | | |
| 特集 | 職場の労働安全衛生問題 | 国公労調査時報 | 596 | 12.8 |
| | 現場復帰を成功させるには (大槻久美子) 働くうえで最も大切なこととは (堀谷昌彦) | | | |
| 特集 | 職場のパワーハラスメントいじめ・嫌がらせへの対応 | ビジネス・レーパー・トレンド | 449 | 12.8 |
| | 労働組合のメンタルヘルスの取り組み一働く人を取り巻く過酷な環境のなかで求められるもの (新井栄三) 職場のパワーハラスメントの予防・解決に向けて (報告) (本多則恵) 職場のいじめ・嫌がらせ, パワーハラスメントの予防・解決に向けた労使の取り組み (報告) (内藤 忍) | | | |

V 労働・社会政策

| | | | | |
|-------|--|--|-------------------------------|-------------|
| <hr/> | | | | |
| 70. | 総記 | | | |
| | 被災地復興まちづくり 克服する課題は何か | 高瀬康正 | 前衛 | 885 12.8 |
| | 英国のニュー・レイバーの経済政策 (その2) | 江藤 勝 | 東京経大会誌 | 273 12.2 |
| * | 大震災・原発事故! 地域社会の崩壊と再生 | | 法政大学多摩事務総務課 | A4.50 13.2 |
| <hr/> | | | | |
| 71. | 雇用・労働市場政策 | | | |
| | 全要素生産性と雇用に関する一考察 | 根岸 紳 | 経済学論究 (関西学院大) | 66-1 12.6 |
| * | 東京レイバーレポート・2012 | | | |
| | 東京都労働相談情報センター編 | 東京都産業労働局雇用就職部 | | A4.143 13.3 |
| * | 働き方と幸福感のダイナミズム | | | |
| | 樋口美雄他編 | 慶応義塾大学パネルデータ設計・解析センターパネル調査共同研究拠点 | | A4.1冊 13.3 |
| <hr/> | | | | |
| 75. | 職業教育・訓練政策 | | | |
| | 日本の大学における文系外国人留学生の就職支援教育と日本企業の採用・雇用管理 | | | |
| | (発題者: 守屋貴司 コーディネーター: 太田肇) | 国際産研 | 31 | 12.7 |
| | 新看護師職業倫理規定: 倫理的・職業倫理的解釈 | | | |
| | ヌンツィアータ・コモレット=アントニオ・G・スパニョーロ著 | 秋葉悦子訳 | 富大経済論集 | 58-1 12.8 |
| <hr/> | | | | |
| 76. | 社会保障政策 | | | |
| | 介護保険制度改正によるケアマネジメント業務量の変化 | 馬場純子 | 専修人間科学論集 (社会学篇) 2-2 (社会学篇第2号) | 12.3 |
| | BOPビジネスは貧困削減の担い手となり得るか? | 石崎程之 | 結城めぐみ 名古屋学院大学論集 社会科学篇 | 49-1 12.7 |
| | 法人の枠を超え, 少子高齢社会を支える (座談会) (2) | (福田啓造 田丸由香 矢田洋三 竹内美佐子 上島丈典 相原鶴代 芦澤昌人 小泉彩枝) | | |
| | | | 介護人材Q&A | 9-93 12.7 |
| | 国民を騙す「社会保障と税の一体改革」の本音 | 芝田英昭 | 建交労雑誌版理論集 | 53 12.夏 |
| | 男性介護者100万人時代介護者支援を進め「介護の社会化」の完成を (インタビュー) | (津止正敏) | 介護保険情報 | 13-4 12.7 |
| | イギリス福祉改革法の問題点 | 樋口英夫 | 月刊労働組合 | 573 12.7 |
| | ただすべきは分配の不等と再配分の不公平 (インタビュー) (富山泰一) | | 月刊労働組合 | 573 12.7 |
| 特集 | これからの医療提供体制 | | 健康保険 | 66-6 12.6 |
| | 平成25年度に向けた医療計画の見直しについて (池上直樹) 医療提供体制の今日的な課題と視座 (高智英太郎) | | | |
| | これからの医療提供体制に関する課題と提言 (西澤寛俊) 医療計画の見直しと今後の医療提供体制 (武藤正樹) | | | |
| | 「医療提供体制」に関する広報活動 (インタビュー) (山口育子) | | | |

英国における認知症の早期診断における「かかりつけ医」の役割に関する検討（下）

| | | | | |
|--|------------|-------------|------|---------|
| | 水野洋子 荒井由美子 | 社会保険旬報 | 2499 | 12.6.21 |
| 社会保障は最も政治的なものである。そして社会保障は最も政治的に扱われてはならないものである。 | | | | |
| | 小野太一 | 社会保険旬報 | 2499 | 12.6.21 |
| これからの日本の医療制度と家庭医療 | 澤 憲明 | 社会保険旬報 | 2500 | 12.7. 1 |
| 社会保障は最も政治的なものである。そして社会保障は最も政治的に扱われてはならないものである。 | | | | |
| | 小野太一 | 社会保険旬報 | 2500 | 12.7. 1 |
| 社会保障は最も政治的なものである。そして社会保障は最も政治的に扱われてはならないものである。 | | | | |
| | 小野太一 | 社会保険旬報 | 2501 | 12.7.11 |
| 今後の社会保障 | 島 和俊 | 週刊社会保障 | 2686 | 12.7.16 |
| 遠のいた社会保障改革 | 若杉敬明 | 週刊社会保障 | 2686 | 12.7.16 |
| OTC医薬品活用によるセルフメディケーションを | 川渕孝一 | 週刊社会保障 | 2687 | 12.7.23 |
| 介護サービス社会化の動向から見る中国の社会保障改革 | 沈 潔 | 週刊社会保障 | 2687 | 12.7.23 |
| 「総合こども園構想撤回」の背景 | 増田雅暢 | 週刊社会保障 | 2684 | 12.7. 2 |
| ドイツの「ハルツIV」と子どもの貧困 | 田畑洋一 | 週刊社会保障 | 2684 | 12.7. 2 |
| 「一体」改革の疑問 | 江口隆裕 | 週刊社会保障 | 2688 | 12.7.30 |
| 政権交代後の英国医療とGPの役割 | 真野俊樹 | 週刊社会保障 | 2688 | 12.7.30 |
| 社会保障改革と雇用 | 清家 篤 | 週刊社会保障 | 2685 | 12.7. 9 |
| 生活保護基準の引下げと法第56条の適用関係 | 白川泰之 | 週刊社会保障 | 2685 | 12.7. 9 |
| 特集 政治はどう向き合っているのか—新しい社会的リスクへの対応 | | 生活経済政策 | 602 | 12. 7 |
| 最低所得保障制度の構築の必要性（駒村康平）「望ましい働き方（非正規雇用）ビジョン」の課題と労働組合の役割（小島 茂） | | | | |
| 生活保護改悪では「餓死・孤立死」が急増する | 尾藤広喜 | 前衛 | 885 | 12. 8 |
| 貧困支援の現場から生活保護を考える | 稲葉 剛 | 前衛 | 885 | 12. 8 |
| 2012年・公的年金制度改定・年金一元化法案のゆくえ | 里見賢治 | 賃金と社会保障 | 1564 | 12.6.下旬 |
| 柔道整復師が療養補償給付支給決定の取消しを求める「法律上の利益」の有無 | | | | |
| | 田中達也 | 賃金と社会保障 | 1564 | 12.6.下旬 |
| 特集 共済の灯を消してはならない！パート5 | | 賃金と社会保障 | 1565 | 12.7.上旬 |
| 共済事業を取り巻く環境とこれからの課題（大植正一）時代の大きな流れからの共済活動への期待（川野祐二） | | | | |
| 生存のための協同と共済研究運動（本間照光）あらためて共済のあり方を考える（講演）（高橋 巖） | | | | |
| 在日コリアン高齢者の介護問題 | 趙 文基 | 桃山学院大学社会学論集 | 46-1 | 12. 6 |

77. 社会福祉政策

| | | | | |
|--|-------|--------------|--------|-------|
| 少子高齢化社会の家族変容と高齢者扶養に関する国際比較研究 | | | | |
| | 衣笠一茂 | 大分大学教育研究所報 | 41 | 12. 9 |
| フランスの社会的排除と公的雇用契約の展開 | 松原仁美 | 経済学雑誌（大阪市立大） | 113-1 | 12. 6 |
| 特集 「地域包括ケア」とは何か—よりよい地域医療を求めて | | 月刊保団連 | 1099 | 12. 6 |
| 開業医から見た地域包括ケアをめぐる論点（塚本忠司）地域包括ケアシステム構想で地域の歯科はどう位置づけられるか（奥山秀樹）ケアを必要とする人たちの今（勝田登志子）「介護」を我らの手に（入野 豊）高齢者居住を考える（増永理彦）人としての尊厳が守られる「地域包括ケア」をめざして（岡崎祐司） | | | | |
| 生活保護パッシング報道の裏側で | 小久保哲郎 | 月刊労働組合 | 573 | 12. 7 |
| オーストラリアにおける介護者への情報提供 | 倉田あゆ子 | 国民生活研究 | 52-1 | 12. 6 |
| 年金教育ニーズの分析 | 佐々木一郎 | 同志社商学 | 64-1/2 | 12. 7 |
| 特集 難病者支援の課題と展望 | | ノーマライゼーション | 32-7 | 12. 7 |
| 難病患者支援の現状と課題（福永秀敏）医療支援の現状と課題（松木満里子）神経難病患者の地域医療ネットワーク構築の課題と展望（川田明広）就労支援の現状と課題（伊藤美千代）福祉の支援の現状と課題（水谷幸司） | | | | |

78. 労働法

| | | | |
|---|-----------|--------|--------------|
| 特集 有期労働契約のあり方 | 労働経済春秋 | 7 | 12. 6 |
| 新労働契約法が実務に与える影響（藤田進太郎）有期労働者の保護で法律改正へ（小井土有治）有期労働契約の法制化に向けて（齊藤恵子）有期労働契約（荒川 春）企業における有期契約社員の活用実態（鍋田周一）改正労働契約法案は雇用の公正・安定につながるか（古田典子） | | | |
| 職場の労働相談 改正された労働者派遣法の内容 | 東京共同法律事務所 | 月刊労働組合 | 573 12. 7 |
| 職場の法律相談 労働協約について（その2） | 東京共同法律事務所 | 月刊労働組合 | 574 12. 8 |
| 近年の判例における労働法解釈への疑問（発題者：下井隆史 コーディネーター：香川孝三） | | | |
| | 国際産研 | | 31 12. 7 |
| 労働法 野田進 畑井清隆 龔敏 新屋敷恵美子 | 法律時報 | 84-7 | 12.6月臨時増刊 |
| 特集 今こそ、グローバル枠組み協定 | 連合 | 25-4 | 12. 7 |
| 日本の労使が培った建設的なパートナーシップを世界へ（伊藤栄一）労使の共同責任で「SR」を推し進め世界で信頼されるより良い企業へ（座談会）（末吉武嘉 俣野勝敏 黒川剛 郷野晶子） | | | |
| 特集 中国の労働条件をめぐる法的諸問題（その2） | 労働法律旬報 | 1771 | 12.7.上旬 |
| 中国における休暇・休業の法規制（山下 昇）中国における賃金の概念と賃金払いをめぐる法規制（森下之博）中国労働法上の「労働者」と「使用者」（龔敏） | | | |
| *実務コンメンタール労働基準法労働契約法 | 労務行政研究所編 | 労務行政 | A5.596 13. 3 |

79. 労働判例

| | | | |
|---------------------------------|------|----------|--------------|
| 執行役員の労災保険法上の労働者性について | 地神亮佑 | 賃金と社会保障 | 1564 12.6.下旬 |
| 実務に活かす平成23年の重要労働判例解説 | 原 昌登 | 労働法学研究会報 | 2530 12.8. 1 |
| ピクチャーサーブیسエンジニアリング事件最高裁判決の意義と課題 | 鎌田幸夫 | 労働法律旬報 | 1771 12.7.上旬 |

80. 労働委員会

| | | | |
|--------------------------------|-------------|--------|----------------|
| 先例性をもつ最近の中労委命令（3） | 池田 稔 | 中央労働時報 | 1150 12. 7 |
| アポットジャパン事件 | 中央労働時報 | 別冊 | 1426 12.7月臨時増刊 |
| 育良精機大阪工場事件 | 中央労働時報 | 別冊 | 1426 12.7月臨時増刊 |
| 石原産業事件 | 中央労働時報 | 別冊 | 1426 12.7月臨時増刊 |
| エール学園事件 | 中央労働時報 | 別冊 | 1426 12.7月臨時増刊 |
| 大阪兵庫生コン経営者会事件 | 中央労働時報 | 別冊 | 1426 12.7月臨時増刊 |
| ブラグ・イン（ブラグ・インユニオン）事件 | 中央労働時報 | 別冊 | 1426 12.7月臨時増刊 |
| *不当労働行為事件命令集 《24年1月～4月・152（1）》 | 中央労働委員会事務局 | | A5.768 12 |
| *不当労働行為事件命令集 《24年1月～4月・152（2）》 | 中央労働委員会事務局 | | A5.769-1576 12 |
| *山形県労働委員会年報 平成24年 | 山形県労働委員会事務局 | | A4.38 13. 1 |
| *愛知県労働委員会年報 平成24年版 | 愛知県労働委員会事務局 | | A4.190 13. 3 |
| *茨城県労働委員会年報 平成24年 | 茨城県労働委員会事務局 | | A4.122 13. 3 |
| *愛媛県労働委員会年報 平成24年 | 愛媛県労働委員会事務局 | | A4.52 13. 3 |
| *大分県労働委員会年報 平成24年版 | 大分県労働委員会事務局 | | A4.77 13. 3 |
| *大阪労委年報 平成24年 | 大阪府労働委員会事務局 | | A5.176 13. 3 |
| *岡山県労働委員会年報 平成24年 | 岡山県労働委員会事務局 | | A4.74 13. 3 |
| *香川県労働委員会年報 平成24年 | 香川県労働委員会 | | A4.58 13. 3 |
| *京都府労働委員会年報 平成24年版 | 京都府労働委員会事務局 | | A4.99 13. 3 |
| *京都府労働委員会年報別冊 平成24年版 | 京都府労働委員会事務局 | | A4.116 13. 3 |
| *熊本県労働委員会年報 平成24年版 | 熊本県労働委員会事務局 | | A4.92 13. 3 |
| *佐賀県労働委員会年報 平成24年版 | 佐賀県労働委員会事務局 | | A4.55 13. 3 |
| *千葉県労働委員会年報 平成24年 | 千葉県労働委員会事務局 | | A4.138 13. 3 |
| *長野県労働委員会年報 平成24年 | 長野県労働委員会事務局 | | A5.181 13. 3 |
| *新潟県労働委員会年報 平成24年版 | 新潟県労働委員会事務局 | | A5.67 13. 3 |
| *不当労働行為事件命令・決定集 平成24年 | 大阪府労働委員会 | | A5.824 13. 3 |
| *山梨県労働委員会年報 平成24年版 | 山梨県労働委員会事務局 | | A5.54 13. 3 |

VI 世界労働

91. アジア

韓国における外国人労働者政策展開の焦点と多文化社会の模索

| | | | | | |
|------------------|---------------------|----------|-----------|-------|-------|
| | 廬 相永 | 大阪産業大学論集 | 人文・社会科学編 | 15 | 12. 6 |
| 韓国・民主労総金属労組KEC支会 | 日本遠征闘争の教訓 | 吉本伸幸 | 月刊労働運動 | 268 | 12. 7 |
| 金属労組が最大規模のゼネスト | | 大森民雄 | 国際労働運動 | 433 | 12. 9 |
| *インドネシア訪問団報告 | | | | | |
| | 日本労働ベンクラブインドネシア訪問団編 | | 日本労働ベンクラブ | A4.54 | 13. 1 |

93. ヨーロッパ

世界の労働組合

| | | | | | |
|---------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------|-----|-------|
| | | | 国際労働運動 | 433 | 12. 9 |
| フランス移民労働者政策の転換 | | 宮島 喬 | 大原社会問題研究所雑誌 | 645 | 12. 7 |
| 特集 ヨーロッパにおける労働事情 | | | 労働調査 | 510 | 12. 7 |
| 経済危機下におけるオランダの労働事情 (本庄淳志) | フランス社会党政権の成立と労働組合 (松村文人) | ユーロ危機とイタリア労働運動の課題 (伊藤 武) | | | |

95. 北アメリカ

『テンブ・エコノミー』(エリン・ハットン著)

| | | | | | |
|--|------|--|-------------|-----|-------|
| | 関口定一 | | 大原社会問題研究所雑誌 | 646 | 12. 8 |
|--|------|--|-------------|-----|-------|

99. ILO, 国際機関

国際労働基準と基準監視機構への攻撃

| | | | | | |
|-----------------|------|--------------------|-------|--------|-------|
| | | | 月刊全労連 | 186 | 12. 8 |
| *ISO26000と労使の課題 | 熊谷謙一 | 日本生産性本部生産性労働情報センター | | A5.165 | 13. 2 |

VII 歴史

100. 総記

*地獄と向きあって44年

| | | | | | |
|--|-------------|--|-------|--------|-------|
| | 矢野忠義, 矢野トヨコ | | 書肆侃侃房 | B6.431 | 12.12 |
|--|-------------|--|-------|--------|-------|

*日本社会民主主義の形成

| | | | | | |
|--|------|--|-------|--------|-------|
| | 大田英昭 | | 日本評論社 | A5.664 | 13. 2 |
|--|------|--|-------|--------|-------|

*人はなぜ人を殺したのか

| | | | | | |
|--|------|--|-------|--------|-------|
| | 舟越美夏 | | 毎日新聞社 | B6.217 | 13. 2 |
|--|------|--|-------|--------|-------|

*部落解放史の最前線

| | | | | | |
|-------------------------|-----------|----------|--|--------|-------|
| 服部英雄, 寺木伸明, 布引敏雄, 石瀧豊美著 | 福岡県人権研究所編 | 福岡県人権研究所 | | A5.133 | 13. 2 |
|-------------------------|-----------|----------|--|--------|-------|

*渋沢栄一と王子製紙株式会社

| | | | | | |
|--|--|---------------|--|-------|-------|
| | | 渋沢栄一記念財団渋沢史料館 | | A4.76 | 13. 3 |
|--|--|---------------|--|-------|-------|

*昭和八, 九年法政騒動

| | | | | | |
|--|------|--|------------|-------|-------|
| | 宮永 孝 | | 法政大学社会学部学会 | B5.22 | 13. 3 |
|--|------|--|------------|-------|-------|

*シリーズ戦後日本社会の歴史 第4巻

| | | | | | |
|--|-------|--|------|--------|------|
| | 安田常雄編 | | 岩波書店 | A5.286 | 3. 3 |
|--|-------|--|------|--------|------|

*平戸・田平・生月れきし再見

| | | | | | |
|--|--|--|---------|--------|-------|
| | | | 長崎人権研究所 | B40.31 | 13. 3 |
|--|--|--|---------|--------|-------|

*明治の政治家と信仰

| | | | | | |
|--|-------|--|-------|--------|-------|
| | 小川原正道 | | 吉川弘文館 | B6.194 | 13. 3 |
|--|-------|--|-------|--------|-------|

*大和国宇陀郡岩崎村関係史目録

| | | | | | |
|--|-------------------|--|----------|-------|-------|
| | 奈良県立同和問題関係史料センター編 | | 奈良県教育委員会 | A5.74 | 13. 3 |
|--|-------------------|--|----------|-------|-------|

101. 生活・労働史 (日本)

東京における“イースト・ロンドン”

| | | | | |
|---------------|--|-------------|-----|-------|
| 高野岩三郎訳, 山本潔解題 | | 大原社会問題研究所雑誌 | 645 | 12. 7 |
|---------------|--|-------------|-----|-------|

対抗から共働へ—戦後労働史 (1)

| | | | | | |
|--|------|--|------------|------|-------|
| | 小池和男 | | 経営志林 (法政大) | 49-2 | 12. 7 |
|--|------|--|------------|------|-------|

*同化と他者化

| | | | | | |
|--|------|--|---------|--------|-------|
| | 岸 政彦 | | ナカニシヤ出版 | B6.448 | 13. 2 |
|--|------|--|---------|--------|-------|

102. 生活・労働史 (外国・国際)

*身分社会と市民社会

| | | | | | |
|-------------|------|--|------|--------|-------|
| ケヴェール・ジェルジ著 | 平田武訳 | | 刀水書房 | A5.338 | 13. 2 |
|-------------|------|--|------|--------|-------|

103. ジェンダー・フェミニズム・女性史 (日本)

特集 歴史認識とジェンダー

| | | | | | |
|--|--|--|------|-----|-------|
| | | | 歴史評論 | 748 | 12. 8 |
|--|--|--|------|-----|-------|

日本の女性史・ジェンダー史研究と歴史認識 (長野ひろ子) 歴史認識と女性史像の書き換えをめぐる (成田龍一) 中国史の歴史認識とジェンダー (小浜正子) 歴史認識を変える (姫岡とし子) アジアから全体史を見る／語る (桃木至朗) EUの歴史認識とジェンダー (羽場久美子) ジェンダー史の可能性 (桜井万里子)

*天皇制国家と女性

| | | | | | |
|--|-----|--|-----|--------|-------|
| | 鄭玟汀 | | 教文館 | A5.395 | 13. 2 |
|--|-----|--|-----|--------|-------|

108. 労働運動史 (日本)

*近江絹糸人権争議オーラル・ヒストリー 1

| | | | | | |
|--|--|--|--|--------|-------|
| | | | | A4.121 | 13. 3 |
|--|--|--|--|--------|-------|

| | | | | |
|---------------------------|------------------|----------------|--------|-------|
| * 崎岡利克オーラル・ヒストリー | | 崎岡利克口述 | A4.1冊 | 13. 3 |
| * 昭和史の証言 | 島上善五郎 | 図書新聞 | B6.254 | 13. 3 |
| * 水俣病と労働者 | 石田博文 | 石田博文 | B6.205 | 13. 3 |
| 109. 労働運動史 (外国・国際) | | | | |
| 国際労働運動の暦 | | 国際労働運動 | 433 | 12. 9 |
| * 在米ロシア人移民労働運動史研究 | 山内昭人編著 | 九州大学大学院人文科学研究院 | A4.94 | 12. 5 |
| 110. 社会主義運動史 (日本) | | | | |
| 1940年代後半における社会党と共産党の共闘 | 横関 至 | 大原社会問題研究所雑誌 | 646 | 12. 8 |
| 112. 諸社会運動史 | | | | |
| * 金曜官邸前抗議 | 野間易通 | 河出書房新社 | B6.264 | 12.12 |
| * 反弾圧・反警察 | 公安警察解体！反弾圧・反警察運動 | | B5.51 | 12. 9 |
| * 差別と反逆 | 朝治 武 | 筑摩書房 | B6.339 | 13. 1 |
| * 民衆運動の思想 | 安丸良夫著 成田龍一解説 | 岩波書店 | 6.378 | 13. 2 |
| * 朝鮮独立への隘路 | 鄭 栄桓 | 法政大学出版社 | B6.351 | 13. 3 |

法政大学大原社会問題研究所／菅 富美枝 編著

**成年後見制度の
新たなグランド・デザイン**

人びとが保護の対象から自身の権利を行使する主体となるための支援とは何か。ケア、介護、消費、福祉などさまざまな現場と世界の最新状況から、成年後見制度を再構築する。予価5985円

法政大学大原社会問題研究所／原 伸子 編著

福祉国家と家族

一九八〇年代以降に福祉国家が縮減する過程とグローバル化の下で家族政策が主流となっていく文脈を、米・英・独・スウェーデン・日本などの歴史的な事例を通して比較検証する。4725円

三井さよ・鈴木智之 編著

ケアのリアリティ 境界を問いなおす

《現代社会研究叢書6》

看護、介護、支援、援助、サポートなど、さまざまな現場でなされていく「ケア」の営みから、そこに生じる諸問題や外部との境界を検証し、ケアのリアリティと可能性を探究する。3150円

三井さよ・鈴木智之 編著

ケアとサポートの社会学

要介護高齢者、病者・障害者、生活保護受給者までを対象に、それを支える家族、職業的サービス提供者、ボランティアたちに共通する問題群を、社会学的見地から明らかにする。3465円

川越修・辻英史 編著

社会国家を生きる 二十世紀ドイツにおける
国家・共同体・個人

十九世紀末から現在に続くドイツ型福祉国家である社会国家の発展を、社会保障の対象とされる人びとの「包摂」と「排除」という往復運動のなかに見だし、多角的に分析する。3780円

《サピエンティア03》

法政大学出版局

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-24 <http://www.h-up.com/>
TEL 03-5214-5540/FAX 03-5214-5542 ※表示価格は税込みです